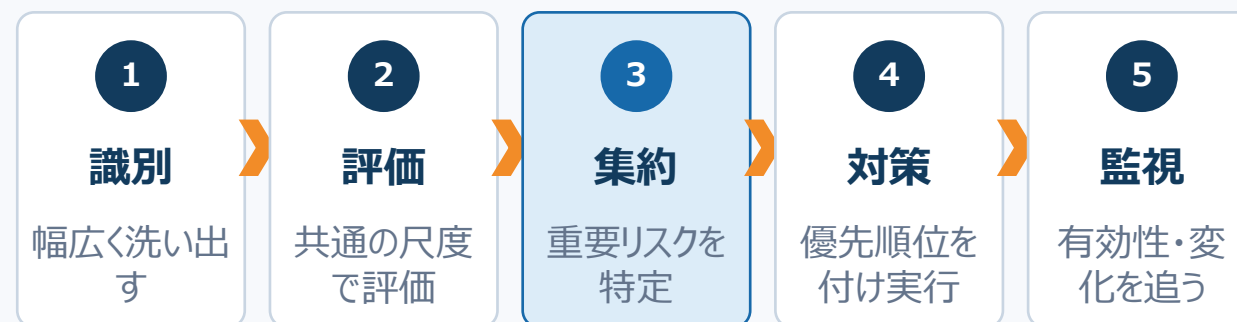


01 ガバナンス

リスクを「現場で拾い、経営で束ね、取締役会で監督」する



TGRS (Toyota Global Risk Management Standard) による共有サイクル



CRO/DCROを軸に地域・機能・カンパニーを横断

経営への接続ポイント

重要度に応じて全社横断タスクフォース化
会議体で対策進捗を確認し、必要案件を取締役会へ

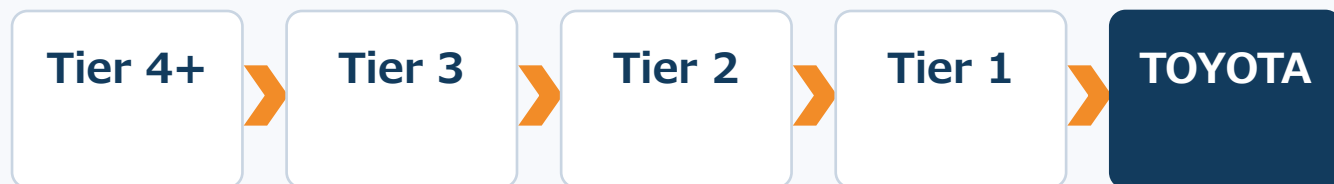
対象：本社・グループ会社・サプライチェーン

02 SUPPLY CHAIN

ガバナンスをサプライチェーンへ伸ばす「可視化 × 共助 × 訓練」

RESCUEで多階層の供給網を把握し、平時の減災から有事の初動・復旧までサプライヤーと一体運用

⇒『コミュニティーファースト』の信頼関係を基に復旧実現を図る



RESCUE | サプライチェーン情報の見える化

拠点・製品・依存関係・単一調達等を可視化

平時 | 備える

情報の見える化
リスク評価・代替性確認
サプライヤーとの定期訓練

有事 | 把握する

被災地域との重ね合わせ
影響部品・拠点を迅速
特定
機密情報を守りつつ連携

復旧 | 支える

現地・サプライヤー支援
調達・生産の復旧調整
地域復旧を含むレジリエ
ンス

経営・ガバナンスとの接続

INPUT 現場・サプライヤー情報
脆弱性／影響／復旧見通し

DECIDE 全社リスク判断
優先順位／資源配分／対策

ACTION 共同実装
減災／複線化／復旧支援

結果：初動の迅速化／復旧の早期化